年間授業計画　新様式例

立川　　高等学校 令和７年度　　教科　国語　科目　古典探究

教　科：　国語　　科　目：　古典探究　　単位数：　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　B　組　　選択

教科担当者：　（A組：　　）　（B組：　　）

使用教科書：　（　東京書籍「新編古典探究」　）

教科　国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】　古典としての古文と漢文を読む能力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】　思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むとともに、古典についての理解や関心を深める。

【学びに向かう力、人間性等】　本文・column・附録などを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

科目　古典探究　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典としての古文と漢文を読む能力を養う。	思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育むとともに、古典についての理解や関心を深める。	本文・column・附録などを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・説話に親しみ、個人の能力や生き方などについて考える。 ・和歌に表れた作者のものの感じ方や、表現の工夫を理解する。 ・故事成語の意味や誓い方を知る。登場人物の主張や心情を読み取る。	十訓抄「大江山の歌」 和歌の世界「小倉百人一首」 故事と小話「蛇足・知音」	○	○	○	「知識・技能」古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考・判断・表現」読むことにおいて、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 「主体的に学習に取り組む態度」進んで古典作品を読み取り、学習課題に沿って展開の面白さを捉えようとしている。	○	○	○	24
	定期考査						○	○		1
2学期	・随筆文学が、作者の自由な目で記されたものであり、題材・文体が多岐にわたることを理解する。 ・日記と日記文学の違い、この作品の内容と作者について、そのおおよそを理解する。 ・多種多様な漢詩の世界を読み味わうことによって、漢詩の文学としての魅力に触れる。	徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 土佐日記「馬のはなむけ」 唐詩「静夜思」	○	○	○	「知識・技能」古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考・判断・表現」読むことにおいて、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 「主体的に学習に取り組む態度」進んで古典作品を読み取り、学習課題に沿って展開の面白さを捉えようとしている。	○	○	○	26
	定期考査						○	○		1
3学期	・「ありがたきもの」の学習を通して、現代語の「ありがたい」とは異なる語彙を持つことから、言葉の変遷に着目し、国語の特質の一面に触れる。 ・講師や「論語」の成立時期について確認し、講師が目指した政治形態を確認する。	枕草子「ありがたきもの」 中国の思想「論語」	○	○	○	「知識・技能」古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「思考・判断・表現」読むことにおいて、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 「主体的に学習に取り組む態度」進んで古典作品を読み取り、学習課題に沿って展開の面白さを捉えようとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
										合計 73